

LAMP® 上吊式引戸 FD30 上ローラー木口掘込 シングルソフトクローザー仕様 施工説明書

品番：FD30HCP

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

本製品について

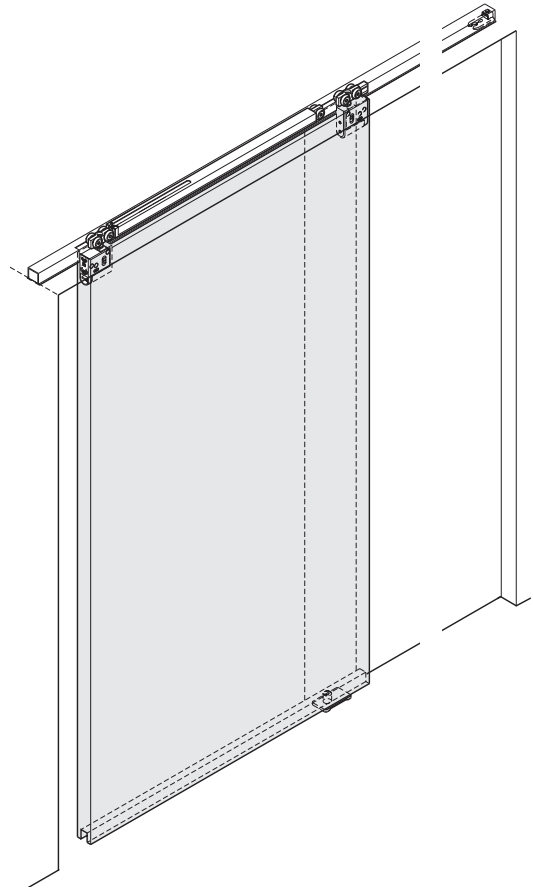
- 一般住宅向けの上吊式引戸金物です。
- 扉を閉じるときにクローザーが働き、2段階でゆっくりと静かに引き込みます。
- 工具を使わずに扉を吊り込むことができます。

仕様

扉高さ	2400 mm 以下
扉幅	510 mm ~ 1000 mm
扉厚	24 mm 以上
扉質量 (1枚当り)	30 kg 以下 ※ ¹
扉上下調整範囲	上方向に 3 mm、下方向に 4 mm
扉前後調整範囲	± 2 mm

- ・使用場所の室温、操作方法および取付状態などにより、ソフトクローザー機構による扉の閉じる速さは変わります。
- ・使用推奨温度範囲は 5℃ ~ 40℃ です。

※¹ 軽い扉で使用した場合、扉を開ける際の抵抗が大きく感じられることがあります。



正しく安全に施工していただくために

図記号の意味



警告
注意



禁止



厳守



警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。

- ❗ 本製品の施工は、知識、経験がある方が本書に従い正しく行ってください。施工に不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをするおそれがあります。
- ❗ 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐える強度の枠を製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し、確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、扉が脱落してけがをするおそれがあります。
- ⊘ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ⊘ 本書で説明する部分以外の分解、および改造はしないでください。



注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

- ❗ 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- ❗ 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずがレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ❗ 本製品は建具を構成するための部品です。施工後に、最終製品としての機能および安全性をご確認ください。また、使用者へ建具を安全に使用するための注意事項を伝えてください。
- ❗ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください（お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください）。

部品一覧

No.	①	②	③	④	⑤	
品名	シングルソフトクローザー	上ローラー(掘込用)	上キャッチ	下ガイド(ローラー付)	ソフトクローザー専用上レール(面付用)	ソフトクローザー専用上レール(掘込用)
品番	FD30-WRH-SC	FD30-WRH	FD30-HTST-DB	FD30-HBG-LBR	FD30-TRM 型	FD30-TRH 型
部品						
付属品	十字穴付なべタッピンねじ 3.5×30 ……3ヶ	十字穴付なべタッピンねじ 3.5×30 ……3ヶ	—	十字穴付皿タッピンねじ 3.5×30 ……4ヶ	—	—
備考	—	—	—	—	推奨ねじ:皿タッピンねじ 3.5×20	

オプション	No.	⑥	⑦	⑧	⑨
	品名	上ローラー用化粧キャップ	扉下側埋込ガイドレール	下ガイドローラー付(軸長タイプ)	スパナ
	品番	FD30-WRH-CP	FD30-HBRT 型	FD30-HBGH	FD30-FSP
部品					
	厚さ: 2 mm	穴ピッチ: 250 mm ピッチエンド: 30 mm	付属: 十字穴皿タッピンねじ 3.5×30 ……4ヶ (ステンレス鋼)	呼び 10, 12	

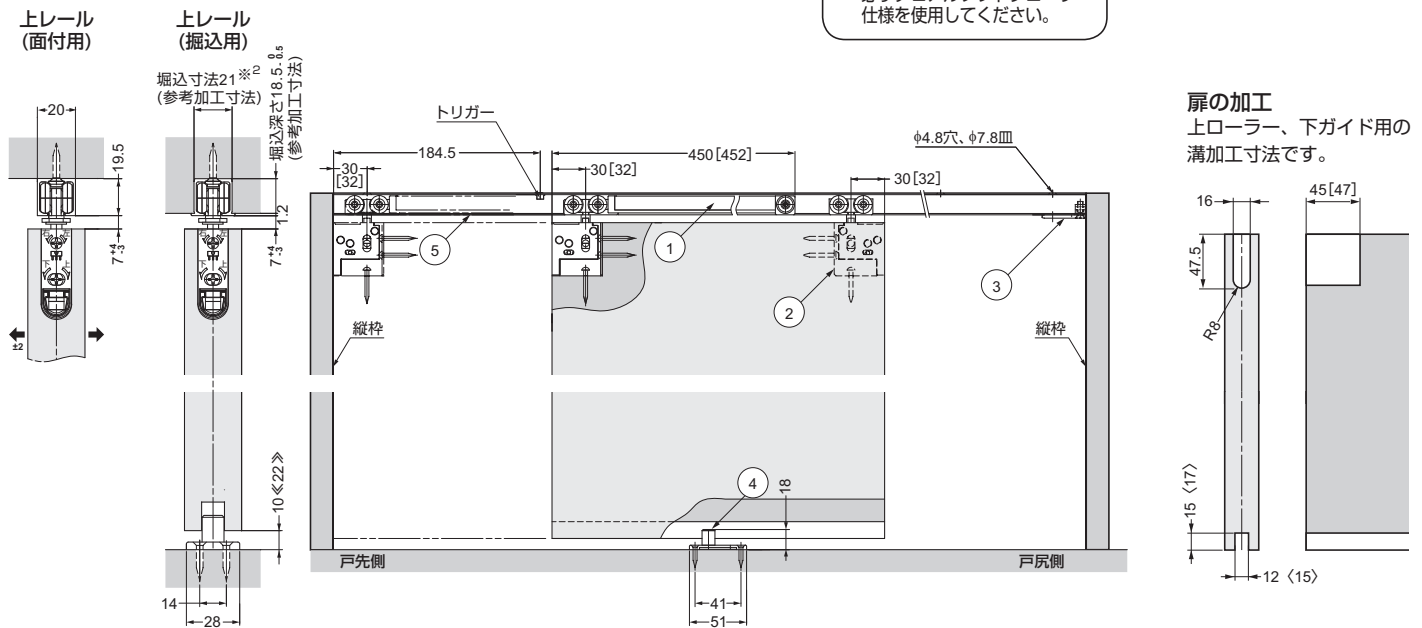
寸法図

(本書では片引き戸を例に説明しています)

※² クロスを巻き込む場合、その厚みを加味してください。

注意

❗ 扉を縦枠に当てない仕様では、必ずデュアルソフトクローザー仕様を使用してください。



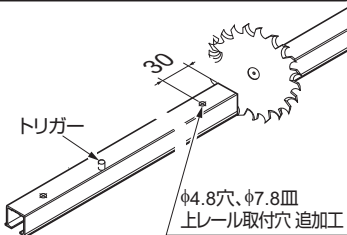
[] は化粧キャップ⑥を付けた場合の寸法です。
 < > は扉下側埋込みガイドレール⑦を付けた場合の寸法です。
 <> は下ガイドローラー付(軸長タイプ)⑧を付けた場合の寸法です。

1 取付前の準備、取付け

1. レールの切断・穴加工

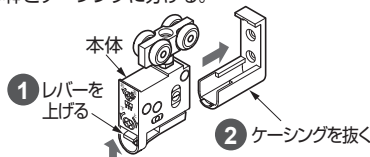
注意

- ⊘ トリガー (ラベル) 側は切断しないでください。
- ⚠ レールが変形しないように補強材などを入れて切断してください。



2. 部品の組み込み準備

- [1] シングルソフトクローザーと上ローラーをそれぞれ本体とケーシングに分ける。

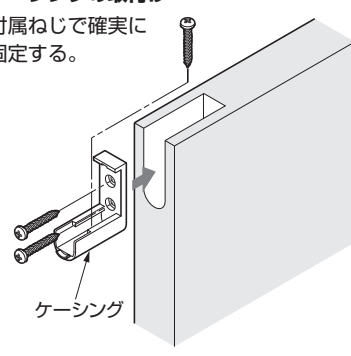


- [2] 上キャッチの固定ねじをゆるめる。



3. ケーシングの取付け

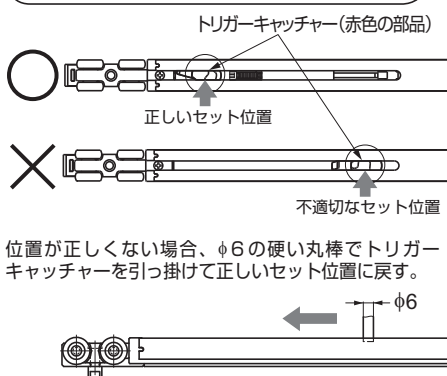
付属ねじで確実に固定する。



4. ソフトクローザーを取り付ける前の確認

注意

- ⚠ 確認しないで取り付けた場合、扉が引き込まれない故障の原因になります。

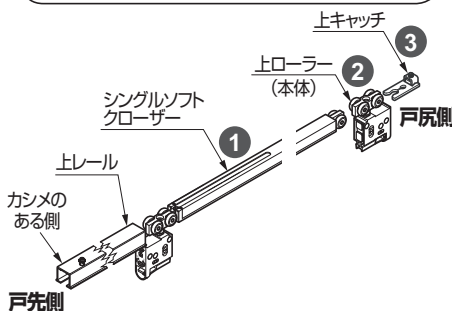


5. 上レールへの部品の組み込み

各部件の向きに注意し ①～③の順番で組み込む。

注意

- ⚠ 組み込んだ部品が落ちないように、上レールとクローザー、上ローラーをテープで仮止めしてください。
- ⚠ 上レール内のごみやアルミの切粉などはきれいに取り除いてください。

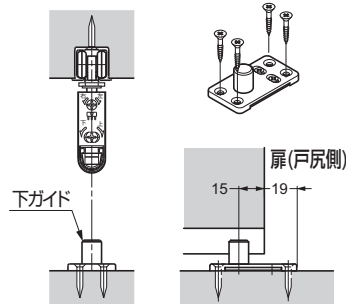


6. 上レールの取付け

推奨ねじ：皿タッピンねじ 3.5×20 (お客様手配)

7. 下ガイドの取付け

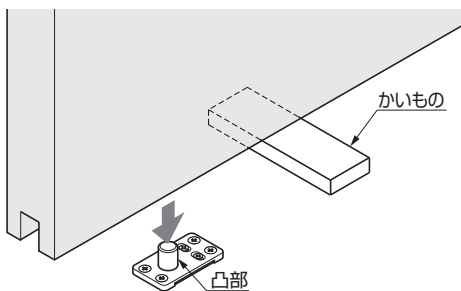
上レール中心の真下に下ガイドの中心を合わせる。扉を閉じた状態で、下ガイドの凸部が扉から外れない位置となるよう調整し、付属ねじで取り付ける。



2 扉の吊込み、調整

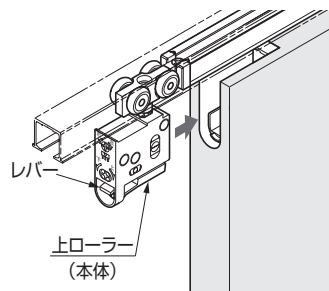
1. 扉の吊込み (扉下部)

扉の下に10 mmのかいものを置き、下ガイドの凸部に扉下の溝を重ねる。



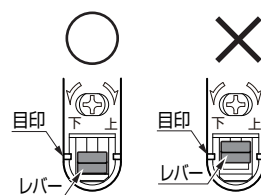
2. 扉の吊込み (扉上部)

上ローラーをクリック音がするまで差し込む。



注意

- ⚠ 上ローラー (本体) がケーシングから外れないか確認してください (戸尻・戸先両側)。



3. ソフトクローザーの動作確認

- [1] 扉の下から10 mmのかいものを外す。
- [2] 扉を戸先側にゆっくり動かし、クローザーがトリガーに当たり、扉が最後まで閉じるか確認する (閉じ始め位置は縦枠の約100 mm手前)。
- [3] クローザーが正しく機能していない場合は、次ページの「困った時の対応」を参照。

注意

- ⊘ 扉を乱暴に閉めないでください。ソフトクローズ機構の故障の原因になります。



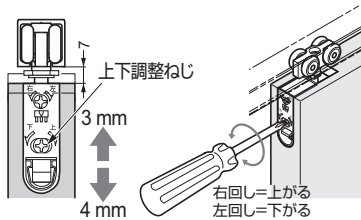
4. 扉の位置調整

扉が上レールと平行で床面とのすき間が6~13 mmになるように調整する。

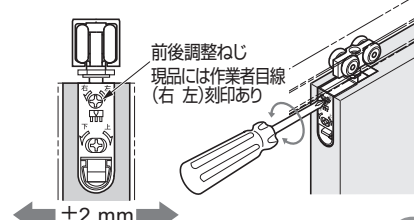
注意

- ⚠ 跳ね上がり防止ナットが緩んだ状態で調整をしてください。
- ⊘ 調整ねじを調整範囲以上に回さないでください。破損の原因になります。
- ⊘ 調整ねじを電動ドライバーで回さないでください。破損の原因になります。

扉の上下調整範囲：7 mm

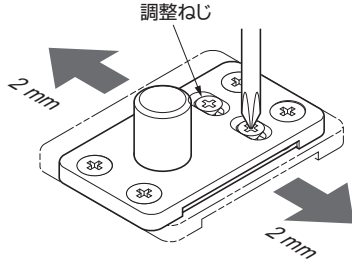


扉の前後調整範囲：4 mm



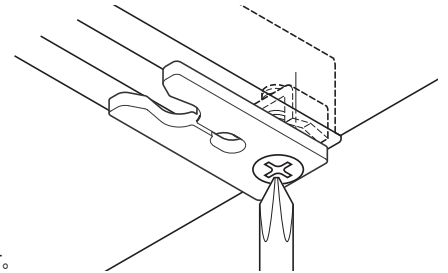
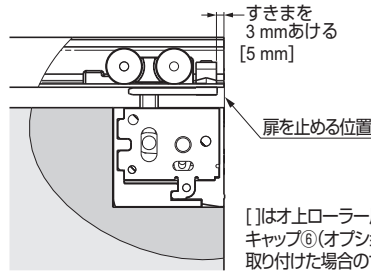
5.下ガイドの調整 (調整範囲: 4 mm)

扉をゆっくり開閉してください。
扉の動きに引っ掛かり感があれば、下ガイドと扉の前後調整をしてください。



6.上キャッチの位置固定 (戸尻側)

上キャッチを扉を止めたい位置から、3 mm手前で固定する。
扉をゆっくり動かして止めたときに、扉が縦枠 (もしくは戸当り) に接触すると同時に上キャッチが上ローラーの軸部に掛かる位置に調整する。

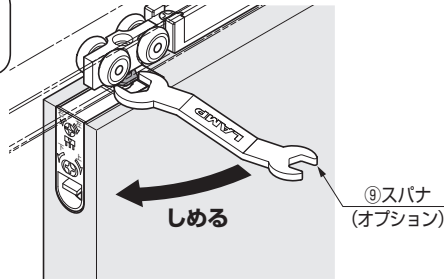


7.跳ね上がり防止ナットの固定

戸先側 (ソフトクローザー側) の上ローラー吊軸の跳ね上がり防止ナットを本体に接触するまでスパナ(呼び 12)で締め付ける。

注意

必ず締めてください。
閉め忘れは、故障・破損の原因になります。

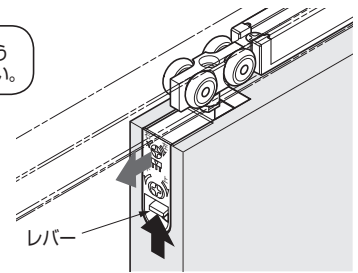


扉の外し方

- 扉の下に10 mmのかいものをはさむ。
- 上ローラー (本体) のレバーを上を持ち上げたまま、上ローラー (本体) をケーシングから引き抜く。

注意

扉を倒さないよう注意してください。



定期点検

- レール内を掃除してください。
- 扉の上下の隙間を確認し、必要に応じて調整をしてください。

困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
扉がソフトクローズの途中で止まってしまう	床面または下ガイドに扉下面がこすっていませんか。 上レールが水平に取り付けてありますか。 モヘア等を使用していませんか。	上レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さを調整し、床面と扉下面との隙間が6~13mmになるようにしてください。 水平器を利用して上レールを水平に付け直してください。 モヘア等と扉の摩擦を軽減してください。
扉がソフトクローズしない	トリガーが付いていますか。 扉を勢よく閉じていませんか。 手順 11 - 4 のトリガーキャッチャー位置が変わってしまった可能性があります (レールを取り付けた状態では確認できません)。	トリガーを指定の位置に取り付けてください。 扉を勢よく閉じることは、故障の原因になりますのでおやめください。 扉と上レールを取り外し、手順 11 - 4 を確認してください。
扉の開閉時に異音が発生する	床面または下ガイドに扉下面がこすっていませんか。 扉が隣接する箇所とこすっていませんか。 レール部のローラーにごみやアルミの切粉が付着または、刺さっていませんか。 レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	上レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さを調整し、床面と扉下面との隙間が6~13mmになるようにしてください。 扉が隣接するものごとすらないように扉の前後調整、または下ガイドの位置を調整してください。 上レールを外し、ローラーを引き抜いてごみや切粉を取除いてください。 ローラーがねじに接触しないよう、ねじを締め直してください。
扉の開閉が重い	床面または下ガイドに扉下面が擦っていませんか。 扉が隣接する箇所と擦っていませんか。	上レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さを調整し、床面と扉下面との隙間が6~13mmになるようにしてください。 扉が隣接するものごとすらないように扉の前後調整、または下ガイドの位置を調整してください。
扉が開閉しない	上レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじに接触しないよう、ねじを締め直してください。
勝手に扉が開閉してしまう	上レールが水平に取り付けてありますか。	水平器を利用して上レールを水平に付け直してください。
上キャッチがうまく機能しない	正しいローラーが取り付けられていますか。	デュアルソフトクローザー対応の上ローラー (FD35EV-WRH-N) を間違えて使用すると、跳ね上がり防止ナットが上キャッチと干渉します。正しいローラーと交換してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL: 03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30
E-mail: support@sugatsune.co.jp